

平成16年度第3回県民活動審議会の概要について

1 開催日時・場所

平成16年10月8日(金)15:20~17:00 山口県社会福祉会館第2会議室(2F)

2 出席者

委員 樋口会長 横田副会長 安藤委員 齊藤委員 浦野委員 川口委員
新庄委員 中川委員 西村委員 福森委員 藤川委員 船崎委員
(18名中12名出席)

県 環境生活部次長、県民活動推進室長ほか職員3名
カザバ - 「やまぐち県民活動きらめき財団」藤屋副理事長

3 概要

(1) 会議概要

- ・「やまぐち県民活動支援センターの管理運営について」、「平成16年度県民活動促進期間の取組について」及び「平成16年度県民活動協働推進の取組について」に関して事務局から説明を行い、委員から意見を聴取。

(2) 主な意見等

やまぐち県民活動支援センターの管理運営について

- ・県民活動のサポートとしては、県支援センターという中心的なもの、県出先機関のサポート、また、新市町で設置されるであろう支援センターの三段階があると思うが、できるだけ現場に近いところでのサポートが本来の姿だと思う。そういう意味で、当座は現状のままでよいが、3~5年後の姿を考える必要がある。
- ・協働に対する行政職員の関心が少ないように感じる。地域におけるサポートシステムは今でも必要ではないかと思う。
- ・合併を進めていくと周辺部が非常に弱くなる。合併後の市町村には支援センターは設置されるかもしれないが、それは中心部である。弱くなる周辺部をどのようにしていくかは、市や町村、県が一緒になって考える仕組みが必要だろう。

平成16年度県民活動促進期間の取組について

- ・協働によって、よりよくなるというイメージを行政職員に持ってほしい。そういう意味で、情報交換会では、県民活動にかかわった行政職員の意見を交えて情報交換すればいいと思う。
- ・情報交換会では、協働の相手が良くわからないといった意見を聞くが、行政職員は個人的に県民活動団体の活動の場に顔を出すなど団体を知る努力をすべきだ。